

令和5年度決算について

学校法人駒澤大学の令和5年度決算は、監事および監査法人の監査を経て、令和6年5月30日の理事会・評議員会において承認されました。

①資金収支について

【収入の部】

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は244億8,889万円となりました。主な項目は学生生徒等納付金収入161億9,533万円、入学検定料などの手数料収入9億127万円、教育後援会・同窓会等の後援団体や(株)KUサポート、企業・個人等からの教育研究活動への寄付等による寄付金収入1億8,046万円、国や地方公共団体からの補助金収入24億6,315万円、私学退職金財団等交付金などの雑収入7億1,419万円、授業料・入学金等の前受金収入51億2,078万円、各種引当特定資産取崩等のその他の収入39億6,817万円等です。これらに資金収入調整勘定、前年度繰越支払資金等を加えた収入の部合計は、349億7,397万円となりました。

【支出の部】

翌年度繰越支払資金を除いた当年度支出は241億3,629万円となりました。主な項目は人件費支出106億5,344万円、教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出59億7,214万円、教育・研究を間接的に支援する管理経費支出9億8,052万円、日本私立学校振興・共済事業団等への借入金等返済支出4億159万円、駒澤大学玉川第2体育館等の空調設備等更新工事に係る施設関係支出3億2,880万円、同じく駒澤大学玉川第2体育館に係る機器備品支出、教育関係図書支出等の設備関係支出3億8,083万円、各種引当特定資産への繰入等の資産運用支出57億円等です。これらに資金支出調整勘定、翌年度繰越支払資金等を加えた支出の部合計は、349億7,397万円となりました。

②活動区分資金収支について

【教育活動による資金収支】

教育活動による資金収支は、支払資金の流れの面から、本業の教育研究活動の収支状況を表しています。学生生徒等納付金収入、手数料収入のほか、施設整備以外の特別寄付金収入や経常費等補助金収入などの教育活動資金収入計208億748万円から、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出などの教育活動資金支出計176億576万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等2億8,599万円を引いた教育活動資金収支差額は、29億1,571万円のプラスとなりました。

【施設整備等活動による資金収支】

施設整備等活動による資金収支は、施設設備の取得・売却等の活動に関する収支状況を表しています。施設設備寄付金や施設設備補助金、特定資産取崩収入などの施設整備等活動資金収入計19億1,341万円から、施設関係支出や設備関係支出、駒澤大学新教場棟(仮称)建設事業などに充当する第2号基本金引当特定資産繰入支出などの施設整備等活動資金支出計51億963万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等2億7,153万円を加えた施設整備等活動資金収支差額は、29億2,468万円のマイナスとなりました。

【その他の活動による資金収支】

その他の活動による資金収支は、借入金の収支、資金運用の状況等の財務活動、預り金等の受払い等の経過的な活動に関する収支状況を表しています。借入金等収入、退職給与引当特定資産等の有価証券償還に伴う取崩収入、受取利息・配当金収入など、その他の活動資金収入計 20 億 7,699 万円から、借入金等返済支出、退職給与引当特定資産繰入支出など、その他の活動資金支出計 17 億 1,851 万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等 308 万円を加えたその他の活動資金収支差額は、3 億 6,156 万円のプラスとなりました。

教育活動による資金収支差額、施設整備等活動による資金収支差額、その他の活動による資金収支差額の収支差額を合計した結果、支払資金は前年度より 3 億 5,259 万円増加し、翌年度繰越支払資金は 108 億 3,767 万円となりました。

③事業活動収支について

【経常収支】

教育活動収支は、本業である教育研究活動を行うための収入・支出です。学生生徒等納付金や経常費等補助金などの教育活動収入計から、人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出計を差し引いた教育活動収支差額は、15 億 2,678 万円の収入超過となりました。なお、この支出のうち 18 億 3,216 万円は減価償却額によるものです。

教育活動外収支は、受取利息・配当金や借入金等利息のように財務的な活動に伴う収入・支出です。受取利息・配当金等による教育活動外収入計から、借入金等利息等による教育活動外支出計を差し引いた教育活動外収支差額は、2 億 4,525 万円の収入超過となりました。

以上により、経常的な収支を示す経常収支差額は、教育活動収支差額と教育活動外収支差額の計で、17 億 7,204 万円の収入超過となりました。

【特別収支】

特別収支は、施設設備に関する寄付金・補助金や資産売却・資産処分等の臨時的な収入・支出です。有価証券の償還等による資産売却差額や施設設備に関する寄付金・補助金などの特別収入計から、資産処分差額などの特別支出計を差し引いた特別収支差額は、5 億 7,047 万円の収入超過となりました。

【収支差額】

経常収支差額と特別収支差額の合計額である基本金組入前当年度収支差額は 23 億 4,252 万円の収入超過となり、ここから基本金組入額 9 億 2,439 万円を差し引くと、令和 5 年度の当年度収支差額は 14 億 1,812 万円の収入超過となりました。当年度収支差額（収入超過）と前年度繰越収支差額（支出超過）の合計額に基本金取崩額を加えた翌年度繰越収支差額は、131 億 3,277 万円の支出超過となりました。

なお、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の事業活動収入の部を合計した事業活動収入計は 218 億 5,887 万円、事業活動支出の部を合計した事業活動支出計は 195 億 1,635 万円となりました。

④貸借対照表について

【資産の部】

有形固定資産は、駒澤大学において旧図書館の解体による建物、構築物等の除却、教育研究用機器備品の除却、玉川キャンパス第2体育館の機器備品更新に伴う除却等により13億1,457万円減少しました。

特定資産は、本部会計において新教場棟（仮称）建設に係る第2号基本金引当特定資産に5億円、減価償却引当特定資産に14億円の組入れ、駒大高校において建設準備引当特定資産に4億円の組入れ等により、28億9,581万円増加しました。その他の固定資産は、駒大高校において有価証券の早期償還1億円等により、1億2,083万円減少しました。

流動資産は、現金預金の増加等に伴い5億883万円増加しました。

その結果、前年度より19億6,923万円増加し、資産総額は1,017億5,941万円となりました。

【負債の部】

固定負債は、借入金を約定どおり返済した長期借入金や退職給与引当金等の減少により3億8,761万円減少しました。流動負債は、短期借入金や前受金が減少したものの、未払金の増加により1,432万円増加しました。

その結果、前年度より3億7,329万円減少し、負債総額は170億8,272万円となりました。

【純資産の部】

基本金総額は前年度より9億2,439万円増加し、978億947万円となりました。翌年度繰越収支差額は、前年度より14億1,812万円増加し、131億3,277万円の支出超過となりました。

その結果、純資産は前年度より23億4,252万円増加し、846億7,669万円となりました。